

基本構想（骨子案）

1 仙台の未来へ

基本構想は、21世紀半ばを展望して目指すべき都市像の実現に向け、市民と行政が共に手を携えて進む指針。

仙台の資産を生かして、厳しい時代環境を乗り越えて都市像の実現を目指す。

仙台の資産と時代環境への認識を共有し、未来への希望の道筋をつけていく。

基本構想の位置づけ

仙台の資産を生かして厳しい時代環境を乗り越えていく

<資産>

- ・ 杜の都
- ・ 学都
- ・ 都市機能の集積
- ・ 市民力

<厳しい時代環境>

- ・ 人口減少・少子超高齢化
- ・ 地球温暖化
- ・ 経済の成熟化、財政の課題
- ・ 近い将来に予測される宮城県沖地震

時代の制約を越える道筋

2 仙台の未来を創る市民力

仙台の未来を創る原動力は、市民力の成長と発展にある。

これまで仙台のまちづくりにおいて市民の力が発揮されてきた場面を振り返ることで、仙台の誇るべき資産の一つである市民力の性格を明らかにし、認識を共有した上で、新しい時代にふさわしい力に育てていく。

仙台の市民力

- ・ 支え合う市民力 ～地域力と先駆的なNPO～
- ・ 賑わいと魅力を生む市民力 ～全国に誇る市民イベントとスポーツボランティア～
- ・ 知恵を集め主体的に行動する市民力 ～杜の都と学都の伝統に輝く～

3 仙台の都市像

成熟社会においても着実に成長する「ひとが耀き続ける杜の都」を次世代に継承することを目指す。

21世紀半ばを展望し、これまで育んできた仙台の都市個性を発展させ、「学び」「共生」「潤い」「活力」をキーコンセプトとする「4つの都市像」を提示する。

< 4つの都市像 >

「未来を育み創造する学びの都」

誰もが互いに学び合い、学びを通じて都市の魅力が創造される都市

- ・次代を担う子どもたちの成長を支え、地域全体で子育てを応援する
- ・仙台の歴史や伝統、地域資源を生かす
- ・学都の資源である若者の力で賑わいと活力を創り、多様な知恵で新しい価値を創造する

「支え合う健やかな共生の都」

多様な個性と価値観を持つ市民が、地域の中で互いに認め合い支え合いながら健やかに共に生きる都市

- ・誰もが健やかに自立して暮らす
- ・多様なまちづくりの主体が支え合う
- ・安全・安心

「自然と調和し持続可能な潤いの都」

自然と調和した循環型の都市

杜の都を未来につなぐ

- ・資源循環型の都市生活
- ・杜の都らしい景観と自然環境
- ・豊かな自然と調和したライフスタイルを未来につなぐ

「東北を支え広く交流する活力の都」

東北の発展を支え、先導する役割を自覚し、豊かな地域資源をつなぐ

- ・内外との交流の拠点となる都市機能
- ・安定した雇用と付加価値の高い経済活動
- ・利便性の高い機能集約型の都市構造
- ・地域の魅力を創り活力を生む

4 仙台の確かな都市経営

市民力を広げ、新しい時代にふさわしい都市経営のしくみを目指す。

基本構想で掲げた「4つの都市像」の実現に向けた具体的施策の方向性を示す長期の基本計画と中期の実施計画を策定し、全体を総合計画とする。分かりやすい目標と適切な評価のしくみで実効性を確保する。

さらなる市民力の広がりに向けて
自立的・創造的な都市経営に向けて
総合計画の推進